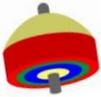




# 日和山

新潟市立日和山小学校  
学校便り 第91号  
令和5年7月20日

6月30日(金)、昨日まで修学旅行で不在だった6年生が、修学旅行後の短縮時程で13時過ぎに下校を始めました。この日の清掃活動のリーダーは5年生です。6年生不在の間、何日間か班長代理を務めてきた5年生に聞きました。「リーダーをやってみて、どう?大変だった?」と聞くと、ある5年生女子はニコッと微笑みながら「はい!」と答えました。別の5年生男子にも同じ質問をしました。同じようにニコッとしながら「はい!」という答えが返ってきました。大変だと感じているにもかかわらず、しっかりとこなしている姿が輝いて見えました。



2日間とも大雨予報の佐渡でした。確かに、建物の中やバスでの移動時は、土砂降りでした。ところが、バスを降りて活動する時には雨がやんで曇りに早変わり。驚異的な「運」を味方に付けた日和っ子6年生は、全日程を、当初の予定通り全て消化したのです。たらい舟体験もいか裂き体験も完璧にできました。1時間予報も全て雨マークだったのに。当日は、とてもたくさんの小学校が、修学旅行で佐渡を訪れていました。行きのフェリーでもいくつかの学校が同乗していました。それらの学校が、当校の行程と違っていたとしたならば、建物の中やバス乗車中が曇りで、活動時が雨だったはず。それらの学校には、本当に申し訳なかったのですが、当校を見守ってくれた神様の威力の方が強かったのだということが理解できます。当校の神様が最強だったのです。

最強の神様が、なぜ当校の味方に……?

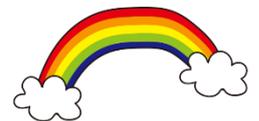
日和山小学校では、「子どもが楽しく学べる教育プラン」(教育ビジョン)において、「重視・充実」することをいくつか明示しています。その中の一つに、「縦割り活動(クローバー班活動)」があります。お互いを支え合う活動です。リーダーシップを発揮して、下学年と共に活動するのです。フォローアップを発揮して、リーダーをサポートするのです。下の学年から頼られる存在として努力し、上の学年を上手に頼って教えてもらいながら、お互いに成長していくのです。

修学旅行前のある日、6年生の廊下に、1年生の担任から届いた手紙が掲示してありました。

(前略)~1年生は清掃が大好きです。「先生、今日そうじある?」と聞いてきて、「あるよ。」と言うと「やったあ!」と喜び、「ないよ。」と言うと「えーっ。」とがっかりします。「おそうじ好きなの?」と聞くと、「うん。だって、6年生に会えるもん。6年生優しいんだよ。」とっていました。1年生がそうじ好きなのも、ほうきやぞうきん掛けが少しずつできるようになってきたのも、みんな6年生のおかげです。いつも、1年生に優しく親切にしてくれてありがとう。(中略)てるてる坊主は、修学旅行の2日間、よいお天気になるように願いを込めて作りました。ひらがな練習中の1年生が、班の6年生を思い浮かべながら一生懸命作っていました~(後略)

出発2日前の月曜日、校長室にも1年生がやってきました。「修学旅行、頑張ってください。」と言いながら、上述のてるてる坊主のカードを私にもプレゼントしてくれました。

出発前日、児童玄関で朝の挨拶をしていたところ、5年生のある子が、「明日からの修学旅行、頑張ってください。」と言いながら、お守り風のカードをプレゼントしてくれました。これも、縦割り班ごとに、5年生から全ての6年生に届けられたとのこと。班のメンバー全員からの拍手の中で渡された班もあったとのことです。



6年生に頑張ってきてもらうために、5年生は「6年生のために、ここが踏ん張りどころ」と、リーダーとして努力し、1年から4年生も一緒になって頑張って掃除していたのです。

これで、「最強の神様」を連れてきたのが誰であったのか、お分かりのことと思います。「日頃から努力し続けている日和っ子6年生」であったことはもちろんのこと、「6年生に楽しんでほしいという1年から5年生までの強い思い」が、「最強の神様」を呼び込んだのです。



日和山小学校の縦割り班は、「最強の神様」を呼び込む、その名も「クローバー班」です。

# 「いつでも どこでも だれとでも」 日和山小のすばらしさを知ってもらおう！

6学年主任 金澤 久恵

梅雨空の天気真ただ中の修学旅行は、常に雨雲の動きを気にしながらの活動となりました。1日目は、西三川ゴールドパークの砂金取り・矢島集落でのイカ裂きとたらい舟体験・宿泊先での鬼太鼓鑑賞。2日目は、佐渡金山見学・相川技能伝承館でのろくろや裂き織体験・ふれあいハウス潮津の里での石細工や籐かご体験、トキの森公園や妙宣寺見学など盛りだくさんの内容となりました。心配していた雨も、活動中に一切降らず、すべての内容を予定通りに進めることができました。また、今年の修学旅行のテーマは『いつでも どこでも だれとでも』。常に日和山小学校の代表であることを意識し、あいさつやお礼の言葉、そして子どもたち同士で助け合って活動しました。テーマを念頭において行動することで、2日の間に大きく成長することができたと思います。思い出や学びがいっぱいの忘れられない修学旅行となりました。



## 令和5年度 クラブ活動

クラブ活動担当 佐久間 甲

クラブ活動には2つのねらいがあります。一つ目は異学年同士がかかわり合いながら、自分の個性を伸ばし、興味を広げていくこと。二つ目は地域のボランティアの方を講師として招くことにより、地域の人々との触れ合いの機会をもつと共に地域の良さを知ることです。今年度も11のクラブが活動しています。月に1~2回、4年生以上の子どもたちが活動しています。日和山小学校のクラブ活動の特徴は何と云っても、40名近くのボランティアさんが協力してくださることです。地域のボランティアの皆様に加え、ダンスエンターテイメント専門学校の学生の皆様などが来てくださるおかげで、子どもの願いを実現させながら、充実したクラブ活動を行うことができます。温かいご支援に感謝し、引き続き子どもたちの成長と一緒に支えていきたいと思ひます。